

長

8ホ  
20  
字詰  
3段組

長塚節の悲戀

佐藤佐太郎

— 黒田てる子の手記 —

未發表

佐藤佐太郎

長塚節は小説

作家としての文学史上

不滅の位置にある。その文学に良心のこもった

内情の記憶をたもたせ、文学に良心のこもった

即ち文学的感動は小説にだけある。長塚

歩道原稿用紙

分野の及ぶ小説の優れな業績を残して

みる。節は正岡子規の晩年の憂鬱を、伊藤

左十夫と雁行してアアキ派歌人の源流と

つら、殊に晩年の如く、と題して

大作家は節一代の傑作である。

と、こし、に慰めらる人もあらう。これに

のあらう、夜は憂鬱し、さあ、さあ、さあ、

は、動かし、話さず、心はもとふ、庶民大

このあらしみの底から、わんやうな短歌は